紙・板紙営業部　〒060-8721　札幌市中央区北3条西14丁目2番地
TEL 011-211-1751　FAX 011-280-5115

包装資材営業部　〒060-8721　札幌市中央区北3条西14丁目2番地
TEL 011-211-1752　FAX 011-280-5116

包装システム営業部　〒060-8721　札幌市中央区北3条西14丁目2番地
TEL 011-211-1250　FAX 011-215-1202

紙包材管理部　〒060-8721　札幌市中央区北3条西14丁目2番地
TEL 011-261-5816　FAX 011-231-3150

○オフィスサプライ営業部　〒003-8502　札幌市白石区流通センター1丁目3番45号
TEL 011-846-1651　FAX 011-846-1640

室蘭出張所　〒059-0032　登別市新生町1丁目17番1号
TEL 0143-82-5211　FAX 0143-82-5220

○直需営業部　〒003-8502　札幌市白石区流通センター1丁目3番45号
TEL 011-860-6700　FAX 011-860-5132

○公共営業部　〒003-8502　札幌市白石区流通センター1丁目3番45号
TEL 011-860-8830　FAX 011-860-5112

○統括支援部　〒003-8502　札幌市白石区流通センター1丁目3番45号
TEL 011-846-1651　FAX 011-846-1640

リテールサポート営業部　〒003-8502　札幌市白石区流通センター1丁目3番45号
TEL 011-887-0623　FAX 011-831-7308

物流センター　〒003-8502　札幌市白石区流通センター1丁目3番45号
TEL 011-846-1661　FAX 011-846-1658

流通センター管理部　〒003-8502　札幌市白石区流通センター1丁目3番45号
TEL 011-846-1601　FAX 011-846-1635

道北支店　〒070-8071　旭川市台場1条1丁目1番8号
TEL 0166-76-4415　FAX 0166-62-6550

北見出張所　〒090-0818　北見市本町3丁目2番6号 ナカシンビル本町
TEL 0157-33-1611　FAX 0157-23-2005

道東支店　〒080-2469　帯広市西19条南1丁目4番地22
TEL 0155-38-2100　FAX 0155-38-3080

釧路出張所　〒084-0912　釧路市星が浦大通3丁目7番10号
TEL 0154-51-6133　FAX 0154-51-4134

道南支店　〒041-8510　函館市西桔梗町589番地42
TEL 0138-49-3711　FAX 0138-49-3686

青森支店　〒030-0142　青森市大字野木字野尻37番地707
TEL 017-762-3701　FAX 017-762-3707

東京支店　〒101-0054　東京都千代田区神田錦町2丁目7 乾ビル
TEL 03-3293-0695　FAX 03-3295-3512

○システム販売推進部　〒003-8502　札幌市白石区流通センター1丁目3番45号
TEL 011-826-6024　FAX 011-868-6789

○リコー販売推進部　〒003-8502　札幌市白石区流通センター1丁目3番45号
TEL 011-846-1615　FAX 011-846-1666

○商・環境システム推進部　〒003-8502　札幌市白石区流通センター1丁目3番45号
TEL 011-826-6013　FAX 011-860-5333

○企画推進部　〒003-8502　札幌市白石区流通センター1丁目3番45号
TEL 011-846-1688　FAX 011-860-5333

○本社　〒003-8504　札幌市白石区菊水3条1丁目8番20号
TEL 011-818-2111　FAX 011-821-5391

○印の部門において、
情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の
認定を受けております。

大丸株式会社
www.daimaru-inc.com

ISO 27001　ISMS-AC ISMS 登録029

R60 古紙パルプ配合率60％再生紙を使用

DAIMARU COMPANY PROFILE

大丸
www.daimaru-inc.com

MESSAGE

創造と提案、そして前進。

昨日生まれた技術は、今日新しい商品となってオフィスや暮らしの進化を支えます。
今日社会で生まれたニーズは、明日ビジネスの新常識となって世界中に発信されています。
変化と高度化の激しい今、お客様への「お役立ちの心」を大切に、
流通業界を生き抜く大丸にとって、「創造」と「提案」は最も重要なキーワード。
そして、その先に企業の、お客様の、そして当社の「前進」があると考えます。
創造と提案、そして前進…
それは大丸の企業らしさを象徴するテーマなのです。



揺るぎない創業の理念が、大丸を支えています。

大丸株式会社は２０２２年８月、創業１３０周年を迎えました。

創業以来お客様の声に耳を傾け、取扱商品・サービスも印刷用紙、板紙、包装資材、文具事務用品、家庭紙の販売や情報機器のネットワーク構築やオフィス家具を含めたオフィス環境のトータルコーディネート、店舗設備の提案など多岐にわたり広げてまいりました。

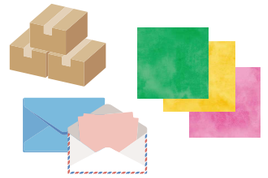
昨今、社会環境や事業環境が早く大きく変化する中、今後もより良い情報とお役立ちできるご提案をさせていただき、お客様に喜んでいただけるよう日々努力し務めてまいります。

私共はまだまだ未熟でございますが、社会貢献できる企業を目指してまいりますので、今後とも、よろしくお願いいたします。

代表取締役社長　芹田　昭彦
Serita Akihiko

大丸はこんな会社です

いろいろな紙やパッケージ材料の会社



印刷用紙や板紙など紙全般や、紙以外の素材も含めた包装資材全般を関連するサービスとともに提供しています

文具・事務用品の会社



身近な文具やオフィスで使う事務用品、OAサプライなどを、最新の情報とともに小売店、販売店へ提供しています

情報システムの会社



情報機器をはじめ、システムの提案やネットワーク環境構築、導入後のサポートまでワンストップで提供しています

環境デザインの会社



小規模オフィスから大型施設まで、ワークスタイルに合わせたオフィスづくりを設計提案、施工、移転工事までトータルプロデュースしています

店舗開発やプランニングの会社



商業施設のプランニング、設計から設備機器・什器の納入設置など、店舗づくりをトータルプロデュースしています

大丸株式会社

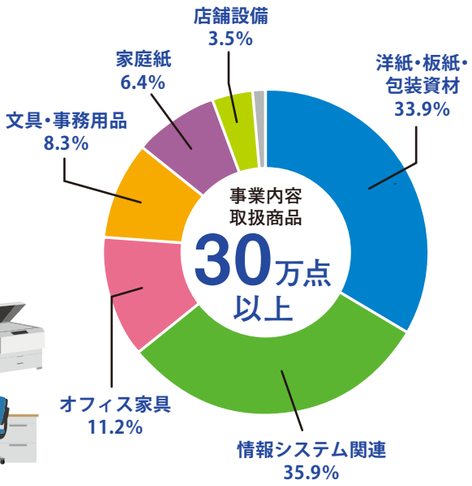
創　業／1892（明治25）年 8月25日
設　立／1922（大正11）年 5月10日
代表者／取締役社長　芹田　昭彦











資　本　金／4億8千万円
売　上　高／538億円



2026年（令和8年）6月30日現在

ニーズとモノ・サービスをつなぐ
3+1のファンクション

当社の仕事は「メーカーから市場へ商品を流通させる」ことだけではありません。当社が介在することでメーカーにもお客様にもメリットが生まれることが重要です。当社では「営業部門」「推進部門」「物流部門」「管理部門」を機能させることにより、世の中に新しい価値を提案し、企業様・お客様の良きパートナーであることを目指しています。

01「多様化するニーズを満たす提案」
営業部門

お客様のニーズは、時代の流れにより多様化、専門化しています。
エリア（支店、営業部）と業種、業態（営業本部制）に応じた
市場の動向を的確に捉えて、
迅速で役に立つ提案を可能にしています。



■ 紙包材営業本部

印刷で使用される印刷情報用紙、紙器の材料となる白板紙、段原紙、包装用紙に至る「紙」や印刷関連機器を取り扱っており、代理店と卸商の両機能を生かし安定供給に努めています。包装資材では、軟包装から容器やラベルまで様々な素材、形態を扱っており、パッケージデザインから個包装、梱包資材、包装機械ラインまでトータルでご提案いたします。

■ リテールサポート営業本部

書店、総合スーパー、ドラッグストア、ホームセンターなどの小売店に、文具や事務用品、バラエティに富んだキャラクターグッズ、トイレットペーパーなどの家庭紙を卸しています。店舗に関わる設備やPOSレジなどの機器類も扱っており、商品供給から棚割りなどのお店作りまでワンストップでお手伝いし、お客様が直面する様々な悩みを解決いたします。

■ オフィス営業本部

地域に根ざし流通を担うパートナー企業と協力しながら、道内民間企業や官公庁、自治体や文教市場等を担当しています。事務用品の販売を始め、お客様の多種多様な困りごとに対してICT機器やDXの導入、オフィス什器や設備、オフィスの空間づくり、それらを組み合わせた働き方の改革などの提案を行い、お客様の更なる発展をサポートしています。

03「必要なモノを安定供給」
物流部門

お客様のニーズに応え、必要なモノを必要なときに
確実に提供するため、物流本部が全社の物流情報を
一元管理して、物流体制の最適化を図り、
高度な物流サービスを追求します。

物流業界の働き方改革によって起こる物流２０２４年問題への対応など、急激な時代変化を的確に捉えて、物流業務の効率化と安全確保を常に心がけ、物流における付加価値創造と機能を強化して顧客満足度の向上を図っています。流通のラストワンマイルを担うべくシンプルで滑らかな、そして強く柔軟な物流運用を常に目指しています。



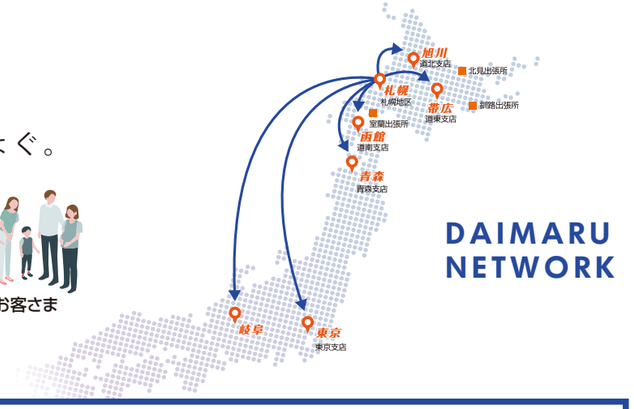
物流センター



物流センター内部

モノとサービスでお客さまと社会をつなぐ。





DAIMARU NETWORK

■ システム販売推進部

はたらく環境を、ITでもっと快適に、安心に。お客様の業務と働き方を見つめ、IT機器・ネットワーク・セキュリティのシステム提案から導入・設置・設定、運用・保守まで一貫して対応。
DXやクラウド環境の整備、業務効率化を力強く後押しし、未来につながる新たな価値を創造します。

■ リコー販売推進部

リコー製品、サービスを活用し、お客様一人ひとりの課題に合わせた最適なご提案を行っています。
複合機を中心としたDX推進をはじめ、ネットワーク構築、セキュリティ対策など幅広い分野で支援します。IT課題の解決や業務効率化を実現し、その先にある新たな価値の創出をお手伝いします。

■ 商・環境システム推進部

オフィス・施設・庁舎関連の空間プランニングから什器・備品販売、内装・改修・設備関連、レイアウト設計・移転計画・管理、プロジェクトマネジメントまで一貫して対応。企業理念やニーズに寄り添い、機能性・快適性・デザイン性を備えた業務改善やエンゲージメント向上につながる空間づくりを支援します。

■ 企画推進部

社内外のネットワークを活かし、多様な情報と商品をつなぎ、これからの時代を担う「商材とサービス」の開拓に取り組んでいます。
市場のニーズを捉えた販売施策や展示会の企画運営、総合カタログ制作を通じ、「新たな価値を創出」する役割を担います。

※洋紙・板紙・包材関連商品の推進部門機能は、紙包材営業本部が担っています。

02「ニーズをとらえ新たな価値を創造」
推進部門

幅広い市場動向と多様化するニーズを的確にとらえ、
各部門の専門性を結集し、
多くのメーカーとともに新たな価値を創造します。



+1「会社の基盤を支えるサポート機能」
管理部門

安定した経営のため、会社の運営管理を統括して行います。

■ 総務部

建物や設備の管理、事業継続のための法務やリスク管理、株主総会の企画運営等々に加え、経営層と現場のコミュニケーションの要として機能しています。

■ 人事部

社員の採用から退職までの労務管理や人事評価制度、社内規則の設計・運用を通して、人材活用のための環境と仕組み作りを担っています。

■ 経理部

関係法令などの会計諸規則に基づき、会社の経営成績の集計、処理、記録、保存および財務状況を把握し、それらの情報を社内外に提供しています。

■ 経営企画部

経営資源である人材の育成からＤＸの推進など、業界や市場の変化に将来にわたり対応できる会社となるために、全社視点で経営を支えています。

■ 情報センター

基幹系システム、情報系システム、財務会計システム、人事給与システムなど全社のコンピューターシステムの企画、開発、運用、保守を行います。

■ 内部監査員

不正防止や業務効率化につなげるため、公正で独立した内部監査を通して、業務や会計の状況を確認して、経営陣に報告、助言、勧告を行います。

WORK PLACE ワークプレイス

ワークプレイスでは、大丸の新たな「ワークスタイル」をご提案する場として、実際に社員が働いているオフィスをショールーム化することにより、働く環境の様々な課題解決への気づきを提供します。



函館：道南支店



札幌：流通センタービル 2F

HISTORY 沿革

1892（明治25）年



創業者藤井専蔵が札幌において和洋紙・文具の卸業を開業

1892（明治25）年 創業者藤井専蔵が札幌において和洋紙・文具の卸業を開業

1914（大正3）年 旭川営業所を開設

1922（大正11）年 組織変更し株式会社藤井商店となる

1929（昭和4）年 石鹸・歯磨・雑貨の販売部門を分離し丸日連合販売㈱を設立

1933（昭和8）年 小樽支店を開設

1937（昭和12）年 ㈱藤井商店専務藤居準一が、小樽においてファイバー製品等を扱う日藤商店を創業、営業所を札幌市に開設（後に独立）

1948（昭和23）年 組織変更し株式会社日藤商店となる

1949（昭和24）年 戦時経済統制のため昭和16年に業務分割した㈱藤井洋紙協販㈱を合併

1950（昭和25）年 東京事務所を開設

1951（昭和26）年 釧路営業所を開設

1957（昭和32）年 大丸ビル建設（現在の大丸藤井セントラルビルの前身）

1963（昭和38）年 旭川営業所を開設

1965（昭和40）年 ㈱藤井商店、函館、帯広、釧路の各市に営業所・出張所を新設

1967（昭和42）年 日藤株式会社と改称

1969（昭和44）年 函館営業所を開設、本社を札幌市中央区北３条西１丁目に移転

1975（昭和50）年 大丸藤井株式会社と改称　青森市、室蘭市に出張所を開設

1980（昭和55）年 帯広営業所を開設

1983（昭和58）年 パピルス紙工株式会社（現・パピルス化成株式会社）を設立

1984（昭和59）年 ニットー運輸株式会社（現・ニットー物流株式会社）を設立

1987（昭和62）年 東京、北見、苫小牧に出張所を開設

1988（平成元）年 丸日販売㈱と統合合併

1989（平成元）年 大谷地商品センター新築

1990（平成2）年 東京吉祥寺パルコ内に創文館開設

1992（平成4）年 DCI計画導入、新マーク・ロゴ・スローガン発表

1993（平成5）年 札幌市中央区北３条西１４丁目に本社移転

1995（平成7）年 石狩物流センター竣工（現・ニットー物流株式会社）

1996（平成8）年 物流センター竣工、札幌地区５営業部を７営業部に組織改革

1998（平成10）年 リコー販売推進部を新設

1999（平成11）年 創文館を廃止

2000（平成12）年 包装システム営業部、流通センター管理部を新設、苫小牧支店を札幌地区に統廃合

2001（平成13）年 商・環境システム推進部、情報センターを新設

2002（平成14）年 小樽市堺町の旧本社跡地に「日藤メモリアルガーデン」オープン

2003（平成15）年 営業本部長制を導入、直需営業部を直需営業部、公共営業部に分割再編成

2006（平成18）年 持株会社として日藤ホールディングス㈱に改称、紙業部および包材化成品部、青森営業所、東京営業所は日藤㈱、東札幌オフィスはコクヨ北海道販売㈱、帯広および釧路営業所は日藤道北販売㈱、函館支店は日藤道南販売㈱、旭川支店は日藤道北販売㈱に分社

2007（平成19）年 日藤メモリアルガーデンが小樽市都市景観賞を受賞

2008（平成20）年 組織再編により、日藤㈱と日藤道東販売㈱、日藤道南販売㈱、日藤道北販売㈱が合併、名称を日藤㈱とする

2013（平成25）年 統合し道北支店とする

2015（平成27）年 日藤メモリアルガーデンは日藤道東販売㈱に分社

2016（平成28）年 帯広支店と釧路支店を統合し道東支店、旭川支店と北見支店を統合し道北支店とする

2017（平成29）年 組織再編により、日藤㈱と日藤道東販売㈱、日藤道南販売㈱、日藤道北販売㈱が合併、名称を日藤㈱とする

2019（令和元）年 情報セキュリティシステム稼動

2020（令和2）年 本社にコールセンターを設立

2021（令和3）年 全道の物流網を再編するため、物流改革を実施

2022（令和4）年 大丸藤井セントラル全面リニューアル実施

2024（令和6）年 持株会社制を廃止し、事業会社である日藤㈱の権利義務を継承した日藤ホールディングス㈱を日藤㈱と改称

2025（令和7）年 大丸藤井㈱と日藤㈱と事業統合に合意、共同で持株会社大丸藤井日藤ホールディングス㈱を設立

2026（令和8）年 小売部門を分割し大丸藤井セントラル㈱を設立

大丸藤井㈱と日藤㈱が合併し、大丸㈱に改称

経営企画部を新設

仙台支店を仙台オフィスに組織改革、紙包材管理部を新設

大丸㈱と大丸藤井日藤ホールディングス㈱が合併

紙・板紙営業部、包装資材営業部を新設

広域支店を新設

物流本部、リテールサポート営業本部を新設

推進本部、企画推進部を新設

オフィスサプライ営業本部と直需営業本部をオフィス営業本部に統合

オフィスサプライ営業部、直需営業部、公共営業部の業務、受注部門を集約して統括支援部を新設

公共営業部他９部門において、情報セキュリティマネジメントシステム（ＩＳＭＳ）認証（ＩＳＯ２７００１）を取得

東京支店と広域支店を統合し、東京支店とする

○大丸㈱
●大丸藤井㈱
●日藤㈱

1996（平成8）年



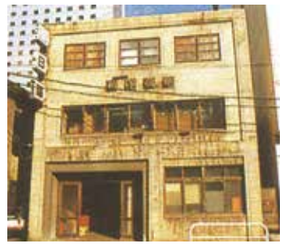
物流センター新築

2002（平成14）年



小樽市堺町の旧本社跡地に「日藤メモリアルガーデン」オープン

1965（昭和40）年



函館営業所を開設、本社を札幌市中央区北３条西１丁目に移転

1989（平成元）年



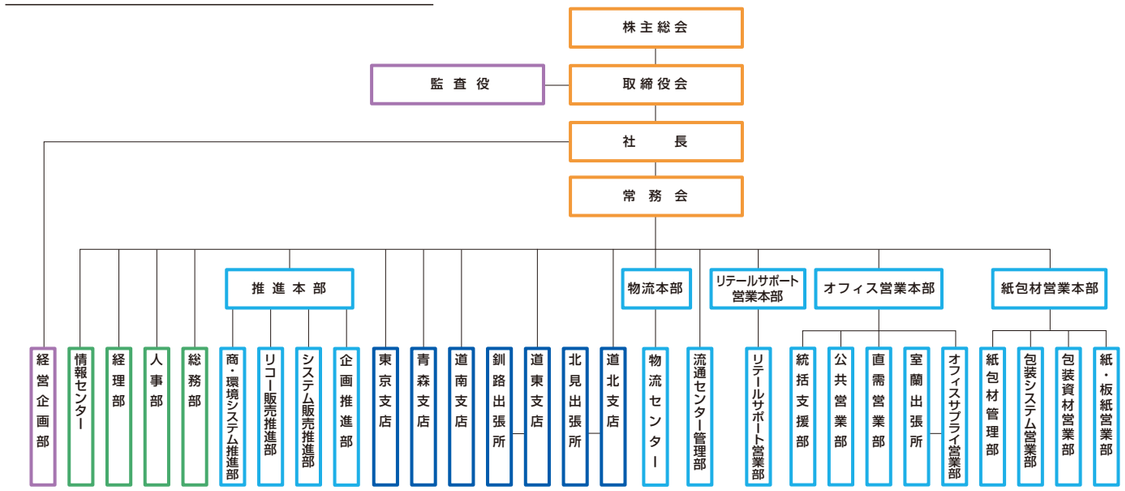
ニュー大丸藤井セントラルビル完成

1937（昭和12）年



日藤商店を小樽にて創業し、営業所を札幌市に開設

ORGANIZATION CHART 組織図



EXECUTIVE 役員

2026年（令和8年）9月29日現在

代表取締役社長	芹田 昭彦
取締役相談役	藤井 敬一
常務取締役	川崎 光夫
常務取締役	川村 淳一
常務取締役	鈴木 賢二
常務取締役	羽立 幸生
常務取締役	工藤 英紀
常務取締役	藤井 一雄
取締役	山川 泰司
取締役	佐々木 靖文
取締役	山崎 敏宗
取締役	原 和範
取締役	小野 義幸
常勤監査役	藤居 基樹
監査役	山本 明彦

CENTRAL 大丸藤井セントラル

大丸藤井セントラル株式会社

文具・画材から、事務用品、コピー印刷サービスまで、札幌の中心街で、多彩な商品提供と消費者の皆様のニーズに応える細やかなサービスを展開しています。 また7階にはギャラリーや個展の開催など、文化や情報発信の拠点となるスカイホールも併設。



〒060-0061 札幌市中央区南１条西３丁目２番地
電話 011-231-1131・FAX 011-231-2449



大丸 index デジタルカタログ
https://www.daimaru-inc.com/catalog
大丸オフィス用品カタログ
パソコンやタブレット、スマートフォンで、WEB上から商品カタログをご覧いただけます。